



図書館つうしん



図書館トピックス

最後の学校配送・移動図書館です

3月末で閉校を迎える小原小学校と旭日小学校に最後の本の貸し出しに行きました。



武蔵図書館ミニギャラリーはじめました

武蔵図書館の展示室で絵画や書道、写真、陶芸などの展示ができるようになりました。

詳細はくにさき図書館までお問い合わせください。



国見図書館「おはなしひろば」の日程が変わります

毎月第2日曜日に行っている読み聞かせ「おはなしひろば」は4月から毎月第2土曜日に変更します。

長期未利用者の登録について

利用者の整理のため、長期間に渡り図書館の利用がない登録者を3月30日(日)をもって登録を抹消します。詳細はくにさき図書館までご連絡ください。
【基準日は令和7年1月1日。10年以上の未利用者が対象です】

図書館イベントカレンダー

- 3/13(木) あかちゃんおはなし会 午前11時 くにさき図書館
- 3/8(土) おはなし会 午前11時 くにさき図書館 武蔵図書館、安岐図書館
- 3/9(日) おはなし会 午前11時 国見図書館 (日曜日開催はこの日が最後です)

休館情報

- 毎週月曜 図書館休館日
- 3/20(木) 春分の日
- 3/28(金) 月末整理日(※毎月最後の平日は整理日で休館)

図書館の推し本

『世界一周航空券バイブル』

橋賀 秀紀／著 出版／イカロス出版

世界一周…素敵な響きですよ。憧れるけれど高嶺の花だと諦めていませんか？ なんと一番安い切符だと50万円以下です。もちろんこれは航空券だけで宿泊費などの諸経費が別途かかりますが…この本では、海外旅行のプロがモデルプランを分かりやすく解説してくれます。世界一周を身近に感じてください。

17人の体験談も載っていますが、読むとますます行きたくくなります。でもその前に外国語を勉強しないとダメかな？

学校図書館の推し本

『イズナくんは今日も、』

桜 いいよ／著 出版／PHP 研究所

放課後、中学1年生の春日^{かすが}が目撃したのは、動物の「イズナ」に変身したクラスメイトの男子・飯綱くん!? 「人と人、人と物とのつながり」=「縁」が見える飯綱くんとともに、春日は自分や身近な人たちの「なくしもの」を探すことに…。

人の縁、物の縁、大切な誰かや何かとのつながりを大事にしたい。楽しくて優しい物語です。登場人物も魅力的で、とても読みやすいお話です。

- 問 国見図書館 ☎82-1585
- くにさき図書館 ☎72-3500
- 武蔵図書館 ☎69-0946
- 安岐図書館 ☎67-3551

こころをつなぐ 人権シリーズ



「希望のバトン」は引き継がれる

文責：社会教育課武蔵地区 桜木 勝之

みなさんは「認知症ピアサポーター」について知っていますか？

「認知症ピアサポーター（以下ピアサポーター）」の「ピア」は「仲間」という意味を表す言葉です。認知症の方やその家族がピア（仲間）として悩みや不安を共有し、互いに支え合うことを「ピアサポート」といい、この活動を行う人を「ピアサポーター」といいます。

認知症の診断を受けた本人は、なかなか認知症を受け入れることができません。また、受け入れたとしても、自分の将来に強い不安を抱きます。家族も認知症の方にどう接してよいのかわからず不安でいっぱいです。

「本人も認知症であるピアサポーターが、別の認知症の診断を受けた方やそのご家族の不安を軽くし、これからの人生を前向きに生きていくための手伝いをします。悩んだり、苦しんだりした時期のことやそれ乗り越えた経験をピアサポーターが語り、その話を聞くことで、前向きになれる不安を抱えたままだった別の認知症の方は、不安が取り除かれ生き生きとした生活を送ることができるようになります。」

実際、武蔵町人権フェスティバルの講演で、ピアサポーターの方から、「認知症になったとしても、人生が終わるわけではない。認知症になっても楽しい生活が送れる、希望がみえる」という話をしていたきました。

また、認知症の方に対して、「何が困っているかを聞くのではなく、何がしたいのか聞くことが大切だ」という話もしていただきました。

ピアサポーターの話を聞き、希望を持ち生き生きとした気持ちで前向きに生活を送れるようになった認知症の方は、「自分も他の認知症の診断を受けて困っている人を助けたい、ピアサポーターとして思いを伝えたい」という気持ちになるそうです。

このようにして「希望のバトン」は次から次へと引き継がれ、広がっていきます。家族の方も一人で抱え込まず、周りに相談しながら、地域に頼りながら、認知症の方と一緒に歩んでいくことが大切です。

誰が認知症になったとしても安心して暮らしていけるような社会にしていきたいです。



教育の里 あらかると

富来小学校 鼓笛引き継ぎ式

2月4日、市内の小学校で唯一、鼓笛隊が活動している富来小学校で鼓笛引き継ぎ式が行われました。式では、保護者や地域の方など約70人が見守る中、現鼓笛隊にとって最後の演奏が披露され、温かい拍手が送られました。

主指揮の徳丸^{みゆか}心優香さん(6年)は「運動会で演奏を合わせることが大変だった。指揮棒と離れるのは寂しいけど、これからも富来小学校の伝統を引き継いでほしい」とあいさつし、新主指揮になる和田駿太郎^{しゅんたろう}さん(5年)へ指揮棒が渡されました。

指揮棒を手にした和田さんは「聞いている方を感動させられる鼓笛隊を目指して、みんなで協力して頑張ります」と意気込みを語り、新鼓笛隊の3～5年生が校歌などを披露しました。



▲ 最後の演奏を披露する6年生ら



新主指揮の
◀ 和田駿太郎さん